

特別支援教室だより

令和6年7月8日 第3号
特別支援教室拠点校
府中市立府中第六中学校
校長 佐藤 光宏

はじめめとした気候が続き、梅雨明けと夏休みが待ち遠しい時期となりました。そんな中でも生徒たちの元気な声が時折プールから聞こえてきます。特別支援教室の1学期の指導も7月12日(金)が指導最終日となり、ご家庭での学習面や健康面での協力、連絡ファイルの記入など大変感謝しております。

1学期末には面談を通じてこれまでの指導の振り返りや、2学期に向けて指導内容の調整をご相談させていただきます。日程の調整等ありがとうございました。どうぞよろしくお願いいたします。

また、8月には六中エリア合同保護者会の開催を予定しています。素敵な講師の先生をお招きしての開催です。別途お知らせも配付いたしますので、ご確認ください。

<小集団の様子>

《キク・ミル・オボエル》

「見て」記憶したり理解すること、「聞いて」記憶したり理解することと、どちらが得意なのかを自己理解する活動を行いました。実際に目から得る情報と耳から得る情報の多さを数値化することで、わかりやすく自分の長所に気づき、記憶の仕方や学習方法を発表し合うことで、日々の学習に活かせることを学びました。

《カタカナシー》

自分の意図をうまく伝えたり、相手の意図を汲んで答えたりすることができるスキルを身に付けるための学習を行いました。ジェスチャーを交え、生徒たちは悪戦苦闘しながらカタカナ語について説明したり、読み取ったりしていました。自己表現の難しさを肌で感じ、コミュニケーションの大切さを楽しく学ぶことができました。

《見えにくさと聞こえづらさ》

小集団授業で自分の情報収集の得意さと苦手さを学習したときに、同じ題材であっても生徒たちの「読みづらい」「聞こえづらい」という感覚の違いがありました。発達の凸凹は人それぞれなので、困りごとによって違ってきます。その人に合ったオーダーメイドの接し方や学びの方法が生徒たちを取り巻く環境に必要です。生徒たちの自己理解とともに、「どうしたら生活しやすくなるのか?」と考え、わかりやすい枠組みや理解と共感が必要だと私たち教員も共に学ぶことができました。

<特別支援教室の今後の予定>

- 7月12日(金) 1学期 指導終了
- 7月16日(火)～ 保護者面談
- 22日(月)
- 8月27日(火) 六中エリア合同保護者会
- 9月2日(月)～ 2学期 指導開始

生徒数(令和6年7月8日現在)

府中第二中学校……21名
府中第六中学校……17名
府中第九中学校……14名 合計52名

森下由規子教授による特別講座

8月27日(火)六中エリア合同保護者会に、明星大学教授の森下由規子教授をお迎えしてご講演をしていただきます。特別支援教育について数々の講演や著書のあるプロフェッショナルの先生に、直接子育てのアドバイスを頂ける機会です。ぜひ参加をお待ちしております。

申し込みは別途ご案内を送付します。